

子育て応援情報誌

ファミリーサポート通信

Vol.29
2020.1



登別市社会福祉協議会
登別市ファミリーサポートセンター

登別市片倉町6丁目9番地1
登別市総合福祉センター内
tel(0143)85-0033 fax88-4546

ご挨拶



登別市ファミリーサポートセンター センター長 坂本 大輔

日頃よりファミリーサポートセンター（愛称「ファミサポ」）の運営にご協力いただきありがとうございます。昨年10月からは、幼児教育・保育の無償化が始まり、子育ての制度が年々充実されてきています。しかし、子育てに関する制度や仕組みが整ったからといって、地域における子育ての支え合いの輪が充実していくものではありません。

登別のファミサポでは、設立当初から、会員同士がファミサポ活動を通じて、様々な課題に気づき、学び合い、会員を拡大して会員同士で苦楽を共にしてきました。今では、「子育てを応援したい」と一人ひとりに心を寄せてくださる提供会員も数多く登録いただいています。

ファミサポは、家族のような存在です。「親も子も孤立させない。」ファミサポ活動は子育ての経験があればどなたでも登録できます。共に地域で子育てを応援しませんか。

2019年度

会員講習会・交流会・講演会

普通救命講習Ⅲ

「子どもの生命(いのち)を守るために」
～事故・病気への対処と応急処置～

● 講師：登別市消防署職員のみなさま

2019年5月24日(金)

今年度の救命講習は会員の方の希望で、3時間の普通救命講習を実施しました。

参加された20名の方々は、講義の際には熱心にメモを取り、実技の時は積極的に質問をしながら技能を身に付けていました。

今回の受講者には『受講修了証』が交付されました。

「毎年受講していますが何度もやらないと忘れちゃいますね」と感想を述べられている会員さんもいました。

ファミサポでは毎年企画しておりますので、積極的なご参加をお願いします。



講習会

「小児看護の基礎知識」～こんなときどうする～

● 講師：登別市保健福祉部健康推進G主幹 田中 明美さん

2019年7月19日(金)

講義前のアイスブレイクとして行った「お札じゃんけん」で会場は笑顔と歓声に包まれ会員間の交流が深まりました。

講義では一転、みなさん真剣に子どもの病気や誤飲・火傷などの思わぬ事故の際の対処法について学びました。



ふれあいフェスティバル 2019 のほりべつ ふれあい交流部会「遊びのひろば」

2019年9月1日(日)

『ふれあいフェスティバル』は登別市社会福祉協議会が、「だれもが安心して暮らすことのできる福祉ゆたかなまちづくり」を願って毎年開催しています。

今年度は登別市社会福祉協議会創立60周年に関わる記念行事として、社会福祉大会が同時開催されました。「遊びのひろば」にもたくさんの親子が来場されました。



講習会 「特別な支援が必要なお子さんとの関わり方」

● 講師：登別市知的障がい者相談員 河上 良枝さん



2019年10月2日(水)

発達の違いがあるお子さんとの関わり方を具体的な事例を交えながら、わかりやすく講義していただきました。

グループ討議では、活発な意見が飛び交いました。日頃の提供活動でもお子さんの背景の理解に努め、子育て中のお父さんお母さんをねぎらうことのできるファミリーサポートであり続けたいと感じました。



講演会 傾聴とは「自分から歩み寄る」こと (登別市社会福祉協議会主催)

● 講師：北海道総合福祉研究センター理事長 五十嵐 教行さん

2019年11月11日(月)

社会福祉協議会主催の講演会にファミサポ会員も参加しました。「傾聴」のコツについて講義いただき、相手の気持ちに寄り添うことの大切さを学びました。



講習会のご案内「調理実習」

日程 2月14日(金) 10:30~12:00

場所 登別市総合福祉センター しんた21 調理室

講師 健康推進グループ 栄養士さん



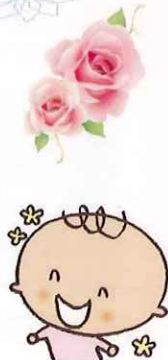
※詳細につきましては、同封のファミサポ便りをご覧ください。
たくさんのご参加をお待ちしています。

会員さんからのメッセージ

☀ 夫の転勤で登別に引っ越して来て、すぐにファミサポに登録しました。提供者さんは、あずかりの度にわが子の良い面をたくさん褒めてくださり、私の子育ての強力な応援者でした。新しい土地で不安いっぱいだった私を支えてくれたことに、本当に感謝しています。

末っ子が幼稚園に入園して少し自分の時間もできたので、今度は私が困っているお母さん方を助けてあげられたらいいなと思い、両方会員に登録変更しました。

活動を通して、自分の子育てとはまた違う感動を日々味わっています。



☆ ファミリーとの出会いは、私の入院が決まったときでした。6ヶ月の娘を抱え、頼れる親戚も近くになく…と途方にくれているとき、ファミリーサポートを知りました。

他人に子どもをあずけることは正直不安もありましたが、提供者の方と事前にお会いすることもでき、安心して入院することができました。おかげさまで、今では元気もりもり、これからは私がみなさんのお役に立てたらと思っています。



☀ 小さなお子さんをお持ちのお母さんは、本当に大変だと思います。

育児をするのは当たり前、誰からも褒められないという状況で頑張っているお母さんにエールを贈りたくて、ファミリーサポートの活動を始めました。

子どもを愛おしいと思っていても、一生懸命「よい子に育てないと…」と思った途端、苦しくなってしまう。そんな時に、「お母さん、すごいね!」「お母さん、頑張っているね!」という声を掛けてあげたい。頑張っているお母さんに笑顔が戻って来るのを見て、やりがいを感じています。



☀ 仕事のため自分で子どもの送迎ができず、母親として失格かなと思っていました。でもファミサポのみなさんが支えてくれたので、仕事も子育ても両立できています。集中して仕事に打ち込めますし、安心して子育てできます。ありがとうございます!!



☀ “ありがとう”の一言ではとても足りないくらいの感謝の気持ちで一杯です。

「母親が仕事をしているから」という理由で娘の笑顔を減らしたくないと思っていましたが、一層増していく無邪気で明るい笑顔に、提供者さんの温かさを感じ、ファミリーサポートのスタッフの方々のご支援があったからと感謝しています。



※ 今まで仕事を続けてこられたのも、ファミリーサポートセンターのおかげです。最初のうちこそ戸惑っていた子どもも、今ではすっかり提供者のお宅に行くのを楽しみにし、帰りたがらないこともしばしばです。子どもを笑顔で迎えてくれる、子どもが笑顔で帰ってくる。こんな安心のサポートです。

☆ ファミリーサポートは、日々の生活の中で少し息抜きができ、「人と接するって楽しい♪」と思える場所…感謝の言葉しかありません。

講習会では自分の知識を高めることができ、子どもも託児でいろいろな方に出会うことで、人間性や社会性がはぐくまれているなと感じます。

子育て真っ最中のママたちは、頑張って踏ん張って疲れてしまう前に、ファミリーサポートに登録してほしいなあと思います。

※ 人なつっこいHくんに癒されて、日々楽しい時間を過ごしています。夫婦の会話にも話題が増えました。主人もあずかりの日は早く帰って来るようにしているようです。

週1回の出会いですが、そのために私たち夫婦も元気でいなければ…と思います。これからもHくんの成長を楽しみにしています。

☆ 最近嬉しかったこと♪♪ まだ支えていなくてはお座りができない7ヶ月の時に初めておあずかりしたお子さんを、3才になって再びおあずかりすることになりました。

ちょっと乙女になっていて、かわいらしい声で「覚えているよ♥」と。帰りには「帰りたくない!」と泣いてくれて…嬉しかったです。カサカサな心を潤してもらいました。

※ わが子が生まれるまでは、子どもはそれほど好きではありませんでした。子どもが生まれると愛情が湧き、いつの間にかファミリーサポートに携わるようになり、お子さんのおあずかりや送迎などの活動をするようになりました。徐々に慣れてきて、この歳になっても変わる、成長できるのだと思いました。

託児で泣いているお子さんのお相手も、全然苦ではなく、むしろ“かわいい”と思える余裕のある自分を発見しました。



～安心・安全な活動をするために～

今年度、「ファミリーサポートネットワーク事業全国アドバイザー講習会」において、「ファミリーサポートセンター事業に求められる安心・安全な活動」について学びました。

安心とは「安全を確保しつつ、信頼が築かれる状態」のこと、信頼とは「能力プラス意図を期待し、信じて頼ること」。つまり、ファミリーサポートセンターの過去の実績を確かめていただき、「大切なわが子を安心して託せるだろう」と期待する感情のことを指します。



また、安全とは国際規格によると、「許容不可能なリスクがないこと」と定義されていますが、残念ながら「0」にはならないというのが現実です。

一般的に、安全というと全く危険な状態がない「絶対安全」を思い浮かべる方が多いかも知れませんが、この定義においては、許容できないリスクがない状態＝リスクを許容できるまで低減させた状態を「安全」と言えるということです。ただ、社会の価値観は日々変化しつつあり、社会はさらなる「安全」を求めています。

厚生労働省の「ファミリーサポートセンター事業実施要綱」では、「お子さんを安全にお預かりするための会員養成講習を実施し、これを修了した会員が活動を行うことが望ましい」と定めています。

また今年度の改正で、「チェックリストを活用した預かり場所の点検」「緊急救命講習及び事故防止に関する講習の必須化」「5年に1回のフォローアップ講習（緊急救命・事故防止）の必須化」が追加されました。



これを受けて当センターでは、従来使用していたチェックリストを見直し、厚労省が提示した見本を基に、新しい安全チェックリストを作成しました。

提供会員・両方会員のみなさまには「安全チェックリスト」「ヒヤリハット報告書」「留意事項（安心・安全な活動をするために）」を同封しましたので、ご活用いただけたら幸いです(*・ω・*)[〃]ハ



登別市ファミリーサポートセンター活動実績

